

**幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会  
登別中学校区検討部会 第3回会議 議事録**

**日時** 令和6年1月31日（水）18時00分

**会場** 登別市観光交流センターヌプル 多目的室A（2F）

**出席者** （委員）

飯尾委員、五十嵐委員、勝間委員、岩部委員、坂井委員、岸委員、斉藤委員  
（事務局）

森元部長、菅田参与、館下次長、近間総務G総括主幹、南雲総務G主幹、  
出口主査、蓬田主査、西川原学校教育G総括主幹、秋葉学校教育G学務主幹

**【議事録】**

**○部会長** 時間となりましたので、これより幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会の第3回登別中学校区検討部会を開催いたします。

前回は、幌別中学校への通学方法をテーマとして、登別中学校、登別小学校、校区内の未就学児童の皆さんに案内して、登別中学校で意見交換会をしました。参加者は7人と決して多くはありませんでしたが、保護者の皆さんの意見を代表している部分はあるのかなと思います。今回は、事務局の方でその内容をまとめているということですので、その内容を報告してもらおうとともに、意見交換会の結果も参考に検討し、次のステップにいければと思っています。それでは事務局、よろしくをお願いします。

**○事務局** （事務局より資料に基づき説明）

**○部会長** ありがとうございます。意見交換会の結果をまとめると、参加者は7人と決して多くはありませんでしたが、多くの保護者が路線バスを利用させることに不安を持っていて、スクールバスを望む意見でした。また、各家庭で通学方法を選べるようにできないだろうかという要望がありましたが、これについては、二重に

予算を措置しなければならないので難しいということでした。携帯電話の持ち歩きについては、現在も学校に申請することで可能とのことでした。我々が議論してきた中では、公共交通機関で通学することにより、子どもたちの成長を促す部分もあるとの意見もありましたが、実際に保護者の声を聞くと、公共交通機関での通学に強い不安があって、スクールバスを希望する意見が予想以上に強かったかなと思います。意見交換会の結果も踏まえて、皆さん、いかがでしょうか？

**○委員** 部会ではいろんな議論をしてきて、公共交通機関での通学は社会性を養う面で効果があるという話もあったんだけど、意見交換会では公共交通機関での通学を心配する声が大半でしたので、スクールバスを選択せざるを得ないのかなと思います。私個人としては、中学生ですから、良いことも悪いことも含めて、ある程度の自由があったほうがいいのかと思っていて、それもあって、通学は公共交通機関でと思っていたのですが、保護者の方達の大部分がスクールバスを望むのであれば、そうせざるを得ないのかなと思います。

**○部長** ありがとうございます。いかがですか。

**○斉藤委員** 緊急時は学校で責任を持って対応するということですが、具体的にどのような形になるのか気になります。もう一つは、特に中学2年生、3年生になると、部活以外に塾に通うこともあると思います。そうした場合には、学校から室蘭方面に行くこともあるかと思います。そうした場合にどのような対応になるのか気になります。これは個人の対応になるとは思いますが。

**○部長** 意見交換会では、そこまで細かい話は出ませんでしたけど、実際にはそうしたケースも出てくるかと思います。このあたりは、スクールバス全般のルール作りが大事になってくるかと思います。委員、どうでしょうか。

**○委員** 緊急事態が発生した時にどちらの対応が早いかと考えると、やはりスクールバスの方が対応はスムーズに行くのかなと感じました。

○部会長 ありがとうございます。いかがでしょうか。

○委員 個人的には、委員と同じように、社会性を培うという意味でも、公共交通機関での通学がいいのではと思っていますが、一定規模の人数が移動することになるので、現在の本数では、不可能ではないにしても、なかなか難しい部分があるのかなと。乗り遅れた時に対応が難しいということもありますし。そうしたことを考えると、スクールバスということになるのかなと思っています。

○部会長 ありがとうございます。委員、どうでしょうか。

○委員 現在でも、明日中等教育学校にバスで通っている子どもたちはいますが、通学人数が違ってきますので、委員もおっしゃるように、やはりスクールバスで一度に運ぶのがいいのかなと思います。もうひとつは、現在でも、下校後に親が送り迎えして塾に通っている子はいるんですが、委員がおっしゃるように、統合後は塾に通う子が増えるような気がしていて、その場合には、学校終了後に家には帰らずに、学校で1～2時間自習して、そのまま塾に通うことも考えられるのかなと。そう考えると、いろいろなパターンがあって複雑になってくるんですが、自分がもし中学生だったらと考えると、幌別に行くっていうのは子どもにとってはわくわくすることなので、そうした意味では、公共交通機関での通学というのも良い面があるのかなと。

○部会長 ありがとうございます。どうでしょうか。

○委員 同じ中学生でも、1年生と3年生では成長の差が大きいので、どの段階にある子に合わせるべきかという、やはりすべての子どもを守るという意味では、成長の遅い子も安心して通学できるよう、スクールバスを選ぶべきなのかなと思います。親にとっては、登校時にスクールバスに乗せた時点で、下校まで安心という感覚がありますし、緊急事態が発生した場合でも、基本的には学校からの連絡

を待つことになりますので、安心感があると思います。もちろん明日中等教育学校の子どもたちは公共交通機関で通っているわけですが、そういう子どもたちはしっかりしている部分があると思いますので、明日中等教育学校への通学を例に出すことについては、少し複雑な気持ちで聞いていました。

**○部会長** ありがとうございます。前回の意見交換会では、参加者全員がスクールバスを望む意見だったわけですが、部会としても、いずれの方法がいいのかまとめる必要があると思います。いずれの方法にもメリットとデメリットがあるので、私としては、どちらかの方法に決めた上で、デメリットをメリットに変えていく方法を考えるのがいいのではと思っています。

**○委員** さきほど塾や部活動の話がありましたが、スクールバスにした場合、登校時とはともかく、下校時については、どのような運用になるのでしょうか。

**○事務局** 現在、温泉地区から登別小学校まではスクールバスを運行していますが、その例をとれば、乗らない場合は事前に連絡をいただいて、乗車する児童を把握する形で運行しています。

**○委員** 悪い言い方をすると、気分で乗らないということは認められない・・・

**○事務局** それは想定しておりません。

**○委員** 例えば今日は友達と遊ぶことになったのでスクールバスには乗らずにというのは駄目で、決まった時間のスクールバスに乗ることになると。

**○委員** 中学生時代にスクールバスを利用していた保護者の方に聞いたのですが、その方の学校では、登校時に、スクールバスの乗車時間を学校に備え付けられた表に記入することになっていて、さらに親からも連絡があるので、学校側が保護者の意向も含め、下校時の乗車時間を把握して、管理していたということです。

○委員 帰る時間は自由ということですか？

○委員 自由ということではなくて、登校時の子どもの申告に加えて、親からも連絡があるので、保護者の意向も含めて学校側が乗車時間を把握して、親の連絡と異なる時間のバスに乗車する場合などには、親に確認するというやりとりをしていたそうです。

○委員 私は自由に育ったせいか、例えば学校帰りに友達の家遊びに行くとか、そういう自由度も無いということがかわいそうになってしまうんですね。

○委員 親がGPSで子どもの行動を管理している時代ですからね。

○委員 塾に行くのは先生達も駄目とは言わないだろうけど、友達の方に遊びに行くのは駄目ということになるんだろうね。

○委員 友達との遊びって予定が立つものではないですよね。会話の中で突然決まったりするので。小学生よりも中学生の方がそういうケースが多いような気がします。そういう場合にどのような対応になるのか。そこまで考えていくと、複雑になってしまうんでしょうが。

○部会長 そのあたりのデメリットについては、部会としていずれかの方法に決めてから、想定外を想定内にしていくというか、対応方法を考えていくことになるのかなと思います。前回の意見交換会も含め、保護者の思いとしては、子どもたちの安全を第一に考えたいということだと思いますので、通学方法はスクールバスという方向になるのかなと思いますが。

○委員 確認なんですけど、スクールバスでスタートして、将来的に登別地区からの通学人数はさらに少なくなった場合に、公共交通機関に替えましようというのは可能

为什么呢？

○事務局 その際には、あらためて保護者の皆さんの意見を聞くことになろうかと思いますが、もちろん可能です。

○部会長 運用していく中でいろいろと問題は出てくると思うので、1年に1回アンケートを行うとか、何かの機会に集まって話し合うとかして、改善点等を提案していくことも必要かなと思っています。

○委員 現在、温泉地区から登別中学校に通っている子どもたちはスクールバスなんですか？

○事務局 路線バスです。

○委員 複雑な心境ですね。登別温泉中学校と登別中学校が統合した際には路線バスということになったのに、今回はスクールバスというのは。

○委員 温泉地区の人間からすれば、公共交通機関で通わせることにそこまで不安を持つというのが不思議な部分があります。もちろん私は保護者世代ではないので、いまの親の気持ちがわからない部分はあるとは思いますが。

○部会長 そうした経験が無いからというものもあると思います。温泉地区の方達は、慣れている部分があるのかもしれませんが。

○委員 もともと温泉地区内でも通学にバスを利用していましたからね。

○委員 いま温泉地区から通学している方にとっては、スクールバスで幌別中学校に直接向かう形になるので、そうしたメリットはあるのかなと思います。温泉地区からのスクールバスは、登別地区には下りずに、新登別大橋を通過して向かう想定なの

はずなので。

**○委 員** 温泉地区の人は、バスの時刻表を見たら、やはりスクールバスを選ぶのかなどは思います。登校時間を考えると、いま登別中学校に通学するのに利用しているバスに乗ることになるので。

**○斉藤委員** さきほど委員の話を聞いていて思ったのは、スクールバスの乗車確認を行うということになれば、幌別中学校の教員がそれにあたることになると思うのですが、教員の新たな負担にならないかという不安は持ちました。

**○委 員** 例えばいまの保育園はQRコードで通園を確認するんです。おそらくスクールバスの乗車についても、そうした方法で行うようになるのではないのでしょうか。

**○斉藤委員** もう一点、幌別東小学校の通学区域でも富浦地区に近い地域に住んでいる子どもたちは徒歩で通学しているのではないかと思うのですが、そのあたりとのバランスはどうなのでしょう。

**○事 務 局** 幌別東小学校区でも富浦地区に近い地域というのは幸町を指していると思いますが、幸町については、小学校で片道2km、中学校で片道3kmという基準を超えていますので、幌別東小学校への通学、幌別中学校への通学ともに、路線バスを利用しています。

**○部 会 長** ありがとうございます。前回の意見交換会も含めて、多くの保護者が、子どもたちの安全を重視し、スクールバスを希望していますので、この部会としては、通学方法はスクールバスということに決めたいと思いますがいかがでしょうか。実際にスクールバスとなれば、対応しなければならないことがいろいろ出てくると思いますが、それについては、今後この部会で話し合っていければと思います。よろしいでしょうか？

## (異議なしの声あり)

**○部会長** ありがとうございます。それでは次に、会議次第4の「その他」について、事務局からお願いします。

**○事務局** 事務局から、もう一つの部会である新校区検討部会の進捗状況について情報提供させていただきます。新校区検討部会では、統合後の校名、校歌、校章、制服のあり方について協議を行っております。このうち制服につきましては、令和9年4月の統合時に、全生徒が揃って同じ制服を着用できるように、令和7年度の新入学生から、統合前の両校で先行して新制服を導入するという考え方がまとめられ、既に学校と教育委員会で、新たな制服の導入に向けて準備を進めているところです。一方、校名、校歌、校章につきましては、現在も協議が続けられております。登別中学校区の関係者の皆さんからは、新しい学校を作っていく上で校名等は象徴的な意味合いがあることに加え、登別中学校区の子どもたちにとっても、校名等が新しくなることで統合への抵抗感が和らぐというような声があり、校名などは新しくすべきという意見が多く聞かれております。対して、幌別中学校区の関係者からは、校名や校歌も大切だけれども、どのような形で新しい学校を作っていくのか、両校の特色をどう生かしていくのか、そのことが重要ではないかというような声が多く聞かれまして、初回の会議から活発に意見が交わされました。続く第2回会議では、事務局から、他市の事例として、室蘭市では統合に合わせて校舎を新築し、校名も新しくしているというような例をご紹介しますとともに、幌別中学校については、令和17年度までの間に、さらに西陵中学校との統合が想定されており、その際には、校舎の新設も視野に入るので、校名等に関しては再統合の際に検討する可能性が高いというようなことを説明いたしまして、それも踏まえて、協議を行っていただきました。協議の中では、それぞれの立場から活発に意見が交わしていただきましたが、長時間にわたって議論を重ねた結果、校名等は幌別中学校を引き継ぎつつ、制服を新しくして、さらに両校の良い部分を生かすことで、新しい学校を作っていくという方向で話し合いがまとまる気運がありました。ただ、前回会議は出席者が少なく、特に登別中学校



の関係者が少なかったということで、2月7日開催の次回の会議で、あらためて協議してはどうかということになりました。新校区検討部会の部会長及び事務局としては、なんとか次回の会議で議論をまとめることができればと思っておりますが、校名、校歌、校章は非常に大きなテーマになりますので、次回会議に臨むにあたり、あらためて登別中学校区の皆さんのご意見を伺えればと思います。この部会のテーマとは少し離れてしまいますが、よろしくお願いします。

**○部会長**     ありがとうございます。2月7日に予定されている新校区検討部会の次回会議で、校名、校歌、校章について考え方を決めたいということで、あらためて登別中学校区の関係者に話を聞きたいとのことですが、いかがでしょうか？

**○委員**     私は新校区検討部会の2回目の会議は不参加だったのですが、保護者向けのニュースレターで開催結果を読みました。一部の委員から、子どもたちは大人が気にするほど、校名がどうなるかは気にしていないのではないかというような意見があったようですが、私の子どもは校名がどうなるか、とても気にしています。子どもたちはさほど気にしていないのではというのは、逆に大人の見解であって、そんなことはないと思います。また、幌別中学校の校名を変えらば、地域の理解を得るのに時間を要するとの意見もありましたが、はじめから両校とも閉校するという考え方をとっていけばそういうことにはならなかったのではないかと思います。前提の部分になりますが、その点がとても気になっています。

**○部会長**     ありがとうございます。他の委員の皆さん何かありませんか。

**○委員**     うちの子ちょうど中学校3年生なんで、やはり登別温泉の知名度は高いので、学校を卒業して市外に出て、自分が卒業した学校を尋ねられた時に、学校名に「登別」や「温泉」という名称が無いのは寂しい気持ちはあります。ただ、人口が減少する中で、学校が無くなるのは仕方ない部分はあると思いますし、それを否定するつもりはありませんが、学校が統合する際の校名の考え方については、整理した方がいいのかなと思います。今後、幌別中学校と西陵中学校が統合する時に

も問題になるような気がします。

**○部会長** ありがとうございます。いかがでしょうか？

**○委員** 校舎は幌別中学校のものをそのまま使うわけなので、幌別中学校でもいいのかなと思っています。さきほどおっしゃっていたように、西陵中学校と統合して、新校舎を建てることになるとしたら、その時に名前を変えるということでもいいのかなと思います。幌別中学校の校舎を利用することを考えると、地域の方々の理解も得やすいし、なじみやすいというものもあると思います。子どもたち自体は、意外と柔軟に状況に対応していくのかなと思います。

**○部会長** ありがとうございます。斉藤さん、お願いします。

**○斉藤委員** なんていうか、子ども達の立場から考えると、幌別中学校の子どもたちにとっては、登別中学校の子どもたちが自分の学校に来たとなるし、登別中学校の子どもたちにしてみれば、幌別中学校に行くことに抵抗感を感じる部分はあると思いますので、校名がどうなるにしても、子どもたちの理解は必要だと思います。室蘭市の場合には、統合の際に新しい校名にした結果、地域との繋がりが無い名前になってしまって、どこの学校かわからない状況なので、本来であれば、幌別と登別、両方の地域性が感じられる校名がいいと思いますが。

**○部会長** ありがとうございます。どうでしょうか？

**○委員** 私は、新校区検討部会の前回の会議に参加したんですが、委員がおっしゃったように、幌別中学校側としては、校名が変わるという感覚はまったく無かったと思いますので、今から校名を変える議論をするのは、地域の方々の理解も含め、難しいのかなと思います。そう考えると、委員がおっしゃったように、幌別中学校の校舎を使用するので、校名、校歌、校章はそのままで、制服を一新して環境を整えるということでもいいのかなと思います。前回の新校区検討部会では、実際

のところ、登別中学校側としてはどうなのかと聞かれましたので、校名、校歌、校章を一新して、新しい学校を作っていくというのが、我々の考えていた方向性だということはいいましたが、幌別中学校側にしてみれば、校名を変えるという考えが無い状態なので、校名については次の統合の際に検討するとして、その代わりに、登別中学校で取り組んできたことを新しい学校でも活かしてもらい、そういう方向で話し合っていくのが現実的なのかなと思います。

**○部会長**     ありがとうございます。どうでしょうか？

**○委員**     私が校名や校歌を変えるべきと考えるのは、もともと統合ではなくて、新しい学校を作るという意識があるからで、やはり校名や校歌は象徴的な意味合いがあるので、新しい学校を作るなら、それらも新しくすべきだと思っています。登別中学校の関係者としては、幌別市ではなくて、登別市なんだから、登別中学校なのではとも思います。隣に登別市役所ができるわけだし、それが自然なのではという気持ちはあります。子どもたちにとってみれば、自分の時に校名や校歌を新しくしたんだ、新しいことが始まったんだという気持ちが生まれることになるわけで、そういう機会を作るというのが大人の役割なのではないかと思っています。私は古い人間なので、校名や校歌はその地域を感じる上でもとても大事なものだと思っています、今回、統合を機にということになれば、子どもたちにその意味を考えてもらう機会になるかなと思っていました。例えば、地元出身者に校歌を作ってもらったり、工学院の学生に制服をデザインしてもらったり、そういうわくわくすることを通して、地域を見直すことができるのかなと思っています。ただ、幌別地区の人達が、歓迎の気持ちを持って登別中学校側の人達を迎えるのであれば、校名や校歌などは継続というのが現実的な対応なのかなと思います。

**○部会長**     ありがとうございます。様々な思いがあるので、これをまとめるのは大変だと思うんですが、もちろん校名や校歌に象徴的なものを求める気持ちもわかりますが、やはり大事なものは、委員が言うように、子どもたちが幌別中学校に行く、吸収されるという意識ではなくて、新しい友達ができて刺激を受けながら勉強する、

切磋琢磨する、そういう環境を作ってあげることなのかなと思います。校名や校歌を新しくという気持ちはもちろんわかりますが、子どもたちが自然に新しい環境に入って行ける、そういう環境を作ることをベースに考えていくことでいいのかなと思います。次の統合の時に、登別中学校という校名をとという気持ちはありますが、もちろん今から約束はできないでしょうし。

**○委員** 校舎をそのまま使うわけですから、幌別中学校ということになりますよね。ストレートに考えれば。

**○部会長** そういう作りだからね、幌別中学校の校舎を使う、そういう作りだからね。協調性だったり、学習の専門性だったり考えた時に、一定の人数が必要だろうということで、統合を良しとしたところはあるんだけど、委員が言うように、校区拡大という要素、仲間も増えて楽しくなる、そういう環境を作ってあげなければならぬのかなと思っています。なかなかまとめるのは難しいけれど、結論としては、皆さんの意見を聞くと、仕方ないかなというところでしょうか。

**○委員** さきほどの委員の話にも通じますが、逆に登別中学校の校舎を使うというケースだったら、登別中学校側が名前を変えることは受け入れないと思うんですよね。幌別中学校の関係者の方達は、そこまで強くは言わないですけど。

**○部会長** そうですね。どちらの校舎も無くなって、新しい校舎ということであれば、新しい校名ということにもなるでしょうけど。

**○委員** 一点確認なのですが、統合時の生徒に対するケアについて、具体的にどのようなことを考えているのでしょうか。

**○事務局** 例えば教員の配置については、登別中学校の統合時に同校に在籍する教員の一部を移動によって幌別中学校に引き続き配属する、そのことによって子どもたちが安心感を持つと思いますので、そうしたケアは当然やっていきます。また、統

合前の一年間を通じて、学校行事等を通して両校生徒同士の交流事業を行うこととなります。幌別小学校と幌別東小学校の統合に際しても、前年度に計画を作り、令和7年4月の統合に向け、令和6年度を通じて、授業などで交流事業を行っていく予定です。これについては、登別中学校と登別温泉中学校が統合した際にも同様の取組を行っております。加えて、さきほど委員から、新しい学校を作るわくわく感という話がありましたが、これについては、新しい制服を選定する過程で、候補を選ぶ段階から子どもたちに関わってもらい、最終的には両校区内の小学生も含めて、子どもたちの投票で決めたいと思っております。また、登別中学校と登別温泉中学校が統合した際には、校名は登別中学校ということになったわけですが、熊舞や鬼みこしを登別中学校で引き継ぎ、いまやそれが登別中学校の特色になっていますので、今回の統合に際しても、登別中学校で取り組んでいる熊舞や鬼みこしをどのような形で幌別中学校に引き継いでいけるか考え、そうしたことを通じて、新しい学校を作っていければと思っています。

**○部会長** どうでしょうか。よろしいですか。

**○委員** さきほど事務局から子どもたちのケアに関し話がありましたが、これについては万全に行っていただきたいと思います。学校統合委員会の幌別中学校側の委員の皆さんにも、登別から来るという感覚があるのかなと感じましたし、子どもは親の影響を受けますので、そうしたことが無いように、統合前の1年間を通じてしっかりやってもらいたいと思います。

**○部会長** 了解です。我々としては、校名・校歌・校章については、幌別中学校を継続する一方で、制服については、統合を機に新しくする、そのことで新しい学校を作る気運を盛り上げていく。制服もひとつの手法だと思うので、制服だけじゃなくて、熊舞や鬼みこしをはじめとした特色ある教育をどのように新しい学校で生かしていくのか、子どもたちがお互い構えることのない環境をどう作っていくのか、今後は、そういったことに重点を移してやっていかなければならないと思います。そういう結論で2月7日の会議には臨むことにしたいと思います。

**○事務局** 本日お集まりの皆さんは、新校区検討部会の部会員も兼ねていらっしゃいますので、2月7日の会議では、登別中学校側のまとめとして、校名・校歌・校章は幌別中学校を引き継ぐ一方で、こういうことは忘れないでやって欲しいというようなことをお話いただければいいのかなと思います。

**○委員** そういう意味では、制服の選定は手間暇かけて、時間をかけてやってくれるということなので、これについては、嬉しく思っています。校名、校歌、校章は決まったので、次は、登別中学校の取組をどのように引き継いでもらえるかということになってくると思います。これについては、条件を通すということではないけれど、登別中学校側で共通認識を持っておく必要があるのかなと思います。登別中学校と登別温泉中学校の統合の際には、登別中学校で熊舞や鬼みこしを引き継いでもらったわけだけど、はじめはかなり抵抗感があったということは聞いています。それでも、登別地区と温泉地区の場合には、地域的に意識を共有している部分もありましたが、幌別地区の場合には、なかなか難しい部分もあるのかなと思いますので。

**○部会長** 了解しました。制服については、事務局はいろいろと考えてくれましたが、委員が言うように、さらに時間をかけて、地域や学生が参加して、デザインを決めていければ良かったんですが、時間的余裕も無いということなので、制服を選ぶ作業に子どもたちが関われるようにやってもらいたいと思います。あとは委員が言うように、特色ある教育の部分については、今後の話し合いになりますので、委員の皆さんには、もう少しお付き合いいただければと思います。

**○部会長** それでは今後の日程について、事務局のからお願いします。

**○事務局** 本日、通学方法はスクールバスということで考えをまとめていただきましたので、それを受けて、バス会社にも聞き取りを行いながら、具体的にどのような形で運行できるか詰めていきたいと思っています。その内容については、あらためてこ

の部会で報告させていただきます。そこで次回の日程ですが、年度末ということもあり、皆さんはもちろん、事務局の対応も難しくなってきますので、日程につきましては、部会長と相談して、後日、郵送で案内させていただきます。また、この部会では、通学方法について考えがまとめられ、新校区検討部会では、既に制服について考えがまとめられたほか、校名、校歌、校章についても、2月7日の会議でまとめられる予定ですので、学校統合委員会本体に、両部会の議論の結果を中間報告していただこうと思っております。このため、3月上旬を目途に、学校統合委員会本体の会議を行いたいと考えておりますので、本体の委員も兼ねている方には、その日程についても、あらためて連絡させていただきます。

**○部会長**     ありがとうございます。事務局より、今後の日程について説明がありましたが、私のイメージとしては、3月上旬の学校統合委員会本体の会議で中間報告した後に、4月に行われる小学校や中学校のPTA総会で、これまで話し合った結果を説明できればと思っています。通学方法については、そこで説明する内容について詰めなければならない部分もありますので、PTA総会前に、部会として協議の場を設けなければならないのかなと思っています。このような形で進めるということではよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

**○部会長**     無いようですので、これで第3回登別中学校区検討部会を終了します。皆さん、ありがとうございました。